



関電工 新WEBムービー 「これからも、ずっと」篇 7月11日公開

～制作に参加した社員40人の手と声で80周年を彩る～

株式会社 関電工（本社：東京都港区、取締役社長：仲摩俊男）は、新WEBムービー「これからも、ずっと」篇を、2024年7月11日（木）より、公式ホームページで公開します。また、7月12日からは、新TVCM（30秒、15秒版）を全国で放送開始します。（一部地域を除く）

- ・公式HP「80周年スペシャルサイト」 <https://www.kandenko.co.jp/80th/>
- ・公式YouTube TVCM（30秒） <https://youtu.be/cOwg8flcPsY>
- ・公式YouTube TVCM（15秒） https://youtu.be/HzFVx_3ajgw



公式HP

<制作の意図>

当社は、電力の安定供給を図るという使命のもと、社会インフラや人々の暮らしを支えるために、発電所や工場、オフィスビル、商業施設、病院など、幅広い分野の設備工事を展開している総合設備企業です。

当社が2024年9月1日に創立80周年を迎えることを記念し、今回、社員参加型の新たなWEBムービーを制作しました。



手の演出やワンカット映像で、 創立後つなぎ続けてきた関電工の歩みを表現！



本作品は、創立から現在、未来へと続く当社の歩みを、切れ間のないワンカット映像で描いた2分30秒の動画です。社員の手や声による演出で80周年の喜びを温かく表現するとともに、社員自らの手で表現することで、社員が主役であり、「これからも、ずっと」「ひとりひとりが、未来を灯す」存在であり続けることを強調しており、本作品を通じて、社会やお客様、社員ひとりひとりとともに、より豊かな未来をつくるという、当社のメッセージが込められています。

未来に向けた明るい音楽にあわせ、一本道を次々に彩る、社員の手表情にご注目下さい。

<ストーリー概要と各シーンの狙い>



①創立当初をイメージした最初の場面。電柱が立ち並び、光が灯るこのシーンは、関電工の歴史が歩み始めたことを表現しています。



②手のひらから次々と建物が登場。経済成長の中で、建設・インフラ構築が盛んになり、当社も事業を拡大し日本の発展を支えたことを表現しています。



③病院やテーマパーク、ランドマークが登場。当社が、暮らしを守り、豊かにする様々な施設を維持・構築してきた様子を彩り豊かに描いています。やがて、高所作業車が現れ、辺りは夜景に包まれます。



④夜景を抜けると現代へ。日の出が差し込み、太陽光・風力発電など自然エネルギー事業の風景が広がります。グリーンイノベーション社会の実現に貢献し続ける当社の事業活動を描いています。



⑤社員と子どもが、仲良く帰途につく様子。育児をしながら働く姿を映像に重ねることで、魅力ある会社づくりを通じて、社員とその家族の幸せも大切にしていきたいという想いが込められています。



⑥そして未来へ。「ひとりひとりが、未来を灯す。」というメッセージとともに、「これまでの80年とこれからの未来への歩み」を象徴した一本道の全景が徐々に映し出されます。



⑦ワンカットパートが成功し、舞台下から社員が登場する喜びの場面へ。ベテランから若手社員まで、世代を超えて協力する姿は技術・技能の継承や新しい世代へと未来をつないでいくことを表現しています。



⑧映像の最後は、当社の社是「人間第一」の、「人」と「一」からなる、ひといちマーク  と、英字「KANDENKO」を手で再現し、最後まで手で表現することにこだわりました。

<制作エピソード>

◇ワンカット撮影の難しさを実感

ワンカットの撮影では、出演者はもちろん、照明やカメラマンなどの制作スタッフ含め、全員が息を合わせる必要があります。加えて、出演者は映像制作経験のない社員。通常業務で時間の制約もある中で、担当パートの自主練習を重ね、全員が“良いものをつくる”という目標を持って臨みました。ワンカット撮影⇒確認⇒修正を何度も繰り返し、OKが出たときの社員の笑顔は必見です。

プロジェクトの完成に向けて多くの人が技術・技能・知恵を出し合って協力する関電工。“ものづくり”の共通点を感じました。

◇社員の家族も参加

本作品では、実際に社員の家族が撮影に参加し、子どものパートを担当しました。「作業着を着ることができて嬉しかった！」「何回も同じことをやって疲れたけど楽しかった！」などの感想があがりました。次世代にも当社事業への理解が深まるように想いを込めています。

◇ナレーターも社員が担当

TVCM版のナレーションは、当初、プロのナレーターに依頼をする予定でしたが、撮影現場で真剣に取り組む社員の姿を目の当たりにして、ナレーターも社員が担当することに決定。プロとは違う自然体な声色をお楽しみ下さい。

なお、80周年スペシャルサイトでは、メイキングムービーなどの撮影の裏側や出演社員のコメントを公開しておりますので、ぜひご覧ください。

～公式YouTubeからもご覧いただけます～ <https://youtu.be/zfXhprtI2SE>



<制作情報>

- ◇監督：くろやなぎてっぺい (P.I.C.S. management)
- ◇振付：フィンガーパフォーマンスグループ XTRAP (<https://xtrap.jp>)
ZANGE、RYOGA、KENSHIN、Yoshio Horyen
- ◇楽曲：音楽プロデューサー 鮫島 充 (P-CAMP) / 作曲・編曲・歌唱 岩崎 慧 (セカイイチ)

« 本件に関するお問い合わせ »
株式会社関電工 総務法務部 広報チーム
電話：050-3186-2920 メール：kdk-koho@kandenko.co.jp